

# 元気に育ってね!

## 夏には飛び交う姿が

3年生 西が丘小 ホタルの幼虫を放流



「元気に育ってね」とホタルの幼虫を放流する西が丘小の児童

網走西部地区資源保全協議会(上田会長)と西が丘小の児童が5日、卯原内川「北ぼたるの里」にホタルの幼虫を放流した。順調に育てば、今月下旬には成虫になって飛び交う姿が見られるという。

ホタルの幼虫を飼育する本が贈られた。受け取った児童は「いっぱい読んで、網走の人にホタルのことを教えてあげたい」と礼を述べた。

同協議会の上田会長は「今年も網走工業から児童にホタルに関

べていた。放流の前に、児童の代表がホタルにあてた手紙を読み上げた。「世話を焼きたら、かわいと思えよ」と、幼虫に育ててね」など、子どもらしい手紙が協議会のメンバーや父母も思わず笑うひと幕もみられた。

この日、放流したホタルの幼虫は、児童が飼育していた約50匹と、ホタルを飼育、繁殖している遠軽町の吉川博美さんが卯原内地区で採取したホタルを飼育、繁殖させた約1千匹、3年生や父母らがコップに入れたホタルの幼虫を川に流した。児童は「早く大きくなって」と声をかけながら、池をのぞ

きこんでいた。同小のホタルの幼虫放流は、「昔の農村地帯を取り戻そう」と、ホタルの復活に取り組みしている同協議会の呼びかけで同小3年生が毎年、総合的な学習で取り組んでいるもの。昨年、放流場所を「北ぼ

たるの里」として池などを整備した。上田会長は「幼虫も大きく育てているので、20日ころから飛び始めるのでは」と話している。8月10日には毎年恒例の「ホタル観覧会」を開く予定という。吉川さんも「夢、希た。